

solution 2

新入試対応のための各種取り組み

新しい大学受験、変わりつつある高校受験を想定

英語 4技能



新しい大学共通テストでは、英語の4技能が重視される方向にあります。また、高校受験においても、英語の外部検定試験の取得級によって加点対象とする府県が出てきています。今後は、スピーキングを入試に取り入れることが決まった自治体などもあり、4技能を重視する流れが明確になってきています。

ベーシックウイングの高校英語には、「英語の耳」を鍛えるリスニング対策授業がすでにラインアップとして組み込まれています。また、生徒を能動的に動かす、スピーキング、ライティングのリアルタイム添削機能を搭載したAIシステム等、従来の映像授業の概念を超えた指導チャンネルを取り揃えています。

小学生から表現力を育成するための新たな添削指導システム「論理の力」をはじめ各加盟校様において、表現力育成指導が効果的かつ簡便に実現できるよう、教材・授業映像制作、添削体制の整備に取り組んでおります。

また、新大学共通テストで想定される出題に備え、高校生ベーシックウイング現代文に「表現編」を新たに加えました。グラフや図表を読み取る力、読み取った情報を基に記述するという、今後求められる力を養成する講座です。

国語 表現力



中→高 継続



私立大学文系学部の入試でも数学が必須となる動きが出てきています。また、国立大学を目指すにはもとより数学が必要です。

統計上、数学を諦めてしまう生徒が多いといわれる高校1年生から2年生で数学から離脱させないことが大切です。学習塾において中学から高校の継続指導が実現できるよう、各種施策を強化しています。詳細はぜひお問い合わせください。

また、高校生の多様なニーズに対応頂けるよう、すべての学習フィールドをご提供していることは、前述の通りです。高校生の日々の課題を解決することが、結果的に入試につながっている、そんなコンテンツやシステムを構築しています。